

当面の技術対策（畜産編）

平成23年7月15日

発行：ゆとりみらい21推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

夏は、暑さに弱い乳牛のためにも「暑熱対策」を万全にして乗り切りましょう。

1 乳牛管理～暑熱対策

- (1) 気温が高くなると、乳牛の呼吸による炭酸ガスや糞尿からのアンモニアガスの発生が多くなります。また、体温が上昇すると繁殖成績に悪影響をおこします。換気扇や扇風機等を利用して牛舎内の換気を良くし、牛体を冷やしましょう。
- (2) トンネル換気を実施している牛舎では、途中での空気漏れに注意し風速2 m/秒以上（顔に風を感じる程度）になるようにしましょう。
- (3) 放牧地やパドックに「日陰」を用意して、直射日光を防ぎましょう。
- (4) サイレージを丁寧に取り出すことにより空気の進入を最小にし、2次発酵を抑制しましょう。TMRも給餌の直前に混合するようにしましょう。
- (5) 新鮮なエサの多回給与を行い、掃き寄せ回数を増やすことにより乾物摂取量の確保に努めましょう。飼槽の清掃にも留意しましょう。
- (6) 涼しい朝方や夜間に採食行動が多くなります。朝方や夜間に十分な飼料摂取が可能となるような給餌をしましょう。
- (7) 新鮮な水がいつでも飲めるように、水槽やウォーターカップの掃除を徹底し、水槽の数を増やすなどの対策を行いましょう。
- (8) 乾乳牛や分娩牛の暑熱ストレス低減に留意し産褥期疾病を防ぎましょう。

2 衛生管理

- (1) 搾乳器具の洗浄・殺菌は、洗剤や殺菌剤の濃度、洗浄温度を守りましょう。
- (2) 治療・初乳用バケツミルカーの衛生に留意しましょう。ライナーは定期的に変換しましょう。クロー、バケツの蓋、ミルクホース接合部などを定期的に分解洗浄しましょう。バケツの外表面も衛生的にしましょう。また、哺乳瓶や哺乳バケツなども洗浄しましょう。
- (3) 畜舎の出入り口には、踏み込み消毒槽を設け、長靴等の消毒を徹底し、牛舎衛生管理に努めましょう。
- (4) 牛体を清潔に保つため、カウトレナーの適正な設置、敷料交換や牛床消毒を励行し、パドックは乾燥状態を保つように努めましょう。

3 草地更新の準備

- (1) 牧草の夏更新は、土壌水分が少なく、干ばつの影響で雑草やマメ科牧草が優占しやすくなります。天気予報を確認し、作業が遅れないよう段取り良く進めましょう。
- (2) シバムギ、リードカナリーグラスなどのイネ科雑草が多い草地は、更新時（は種前）にグリホサート系除草剤でしっかり退治しておきましょう。

**畜舎出入り口の消毒は日常の衛生管理です！
石灰消毒と踏込消毒槽の設置を忘れずに！**

